

2023年度第1回町田市自殺対策推進協議会 会議録要約

1 日時 2023年4月27日(木) 13時30分～15時30分

2 場所 市庁舎2階2-2会議室

3 出席者

秋法律事務所 秋山委員、北里大学医学部精神科学 稲田委員、特定非営利活動法人全国自死遺族総合支援センター 秋田委員、特定非営利活動法人東京多摩いのちの電話 早借委員、八王子労働基準監督署町田支署 飯島委員、町田公共職業安定所 菅沼委員、警視庁南大沢警察署 松村委員、町田消防署 渡邊委員、町田市民生委員児童委員協議会 藤嶋委員、一般社団法人町田市医師会 中川委員(会長)、公益社団法人東京都町田市歯科医師会 戸羽委員、一般社団法人町田市薬剤師会 安岡委員、社会福祉法人町田市社会福祉協議会 小林氏(北澤委員代理)、町田商工会議所 青木委員、町田市町内会自治会連合会 中委員、町田市公立小学校長会 山中委員、町田市公立中学校長会 工藤委員

4 資料

【資料1】町田市内の自殺の状況について

【資料2】2022年度自殺対策推進事業の取組状況について

【資料3】2023年度自殺対策推進事業の取組について

【資料4】(仮称)まちだ健康づくり推進プラン24-31の策定状況について

【資料4-1】町田市民の保健医療意識調査結果の概要について

【資料4-2】(仮称)まちだ健康づくり推進プラン24-31の策定について

【資料4-3】(仮称)まちだ健康づくり推進プラン24-31の体系と考え方

【資料4-4】「自殺総合対策大綱」のポイント、概要

【資料4-5】現行計画と次期計画の目指す姿と取組の方向性の比較(自殺対策部分)

【資料4-6】現行計画と次期計画の目標項目の対応関係

【資料5】<団体別>町田市自殺対策計画事業進捗シート【関連事業(地域)】

【資料6】<課別>町田市自殺対策計画事業進捗シート【関連事業(町田市)】

【資料7】2023年度自殺対策推進協議会委員名簿

【参考資料1】ゲートキーパー啓発ポスター(A4)

【参考資料2】町田市民の保健医療意識調査報告書

【参考資料3】町田市自殺対策推進協議会設置要綱

【参考資料4】町田市自殺対策計画事業進捗シート【関連事業(地域)】全体版

【参考資料5】町田市自殺対策計画事業進捗シート【関連事業（町田市）】全体版

5 議事要約

(1) 開会

事務局から開会が宣言された。

(2) 委員自己紹介

委員から自己紹介がされた。

(3) 議事

①事務局から町田市内の自殺の状況について報告があった。

②事務局から2022年度自殺対策推進事業の取組状況について報告があった。

③事務局から2023年度自殺対策推進事業の取組について説明があった。

④事務局から(仮称)まちだ健康づくり推進プラン24-31の策定状況について報告があった。

(質疑・意見)

委員：昨年、全国的に自殺者数が増加に転じている。資料を見ると町田市では40代、50代の働きざかりの年代の人数が多くなっている。中年層の増加の原因について何か情報があれば知りたい。

事務局：全国においても女性は微減だが、男性は増加している。町田市はベッドタウンであることが関係しているのではないかと思われる。

会長：秋から冬にかけて増える印象があり、昨年の秋以降、体感的に増えていると感じた。

事務局：自殺者数の数値は警察からの報告を受けて厚生労働省が公表している。最初に暫定値が公表されるが、年度末の確定値で人数が急に変わる。暫定値では少なくとも、確定値の段階でかなり増えることが多い。ここ2、3年はコロナ禍の影響もあるためか、女性が増えてきていたが、元々男性の方が多く、これまでの傾向が戻ってきたとも捉えられる。補足として、去年は月別では7月が一番多かった。それ以外は10月から12月が増加傾向にあった。

会長：やはり秋は次第に寒くなり、日が暮れるのも早まるため、自殺が増える印象がある。2021年まではコロナだからと耐えられていたが、コロナが落ち着いてきても、物価が上がり生活が苦しい、ウクライナ問題などの国際紛争などがあり、辛いと感じる人も多い。

委員：2017年が少ないのは何か理由があるのか。

事務局：明確な原因は分からない。

- 委員：傾向として少なかった次の年は増える傾向が見られる。そこで対策が取れると良い。
- 事務局：対策は特定の分野だけではなく、あらゆる分野で総合的に進めていく必要があると考えている。
- 委員：都道府県や市町村で一番多いところはどこか。そこでの対策は何か行っているのか。
- 事務局：2022年は、秋田、岩手、富山、愛媛、宮崎で自殺死亡率が20を超えている。そういったところが何かやっているのか確認していきたい。
- 委員：自殺対策キャンペーンを9月と3月に実施しているが、市独自の期間にやってもよいのではないか。
- 事務局：東京都の自殺対策強化月間であり、社会全体で機運をあげようという中で合わせて行っている。町田市ではバスの車内広告や鉄道の市内全駅でのポスター掲出などを行っている。普及啓発の方法については、工夫しながら取り組んでいきたい。
- 委員：今の若者の気持ちを理解することが難しくなっている。
先日テレビで離島留学した高校生が里親にゲームやスマホを注意されたことで自殺したというニュースを見た。なぜ、ゲームを離すという気持ちが持てず、追いこまれてしまったのか理解し難い。
- 委員：今の子どもたちの気持ちがどうなっているかは分かりづらい。確かにゲーム漬けになっている部分もあるが、それがすぐに自死と結びつくというものでもなく、個々の特性も影響しているかと思われる。
- 委員：やはり長期休業明けは、特にケアが大事な時期と思っている。夏休み前などにSOSの出し方教育やスクールカウンセラーの利用案内などを行っている。ゲームに関しては、学校でもパソコンの利用が増え、本来ゲームが目的ではないといっても、ダメと言って止められない。ただ、町田市の学校でのパソコン使用に関する対策は比較的進んでいる方かなとは思う。
- 会長：確かにスマホや、SNSへの若い人の依存度は高い傾向にある。入院する時にスマホは使えないことを承知したはずなのに、スマホが使えないからとその日のうちに退院するケースもある。精神科病棟では使用可能なのか。
- 委員：精神科病棟ではスマホは使えない。
- 委員：他自治体で社会保障に関する予算削減により自殺対策予算が削られているという話を聞くが、町田市はどうか。
- 事務局：基本計画の中に自殺対策が位置づけられており、5年間の事業費は確保されている。

- 会 長：資料 4-4、4-5、4-6 の内容が、ぱっとみただけではわかりづらい。
- 事務局：資料 4-4 は国の「自殺総合対策大綱」の内容であり、その中の 13 の重点施策を、町田市の計画でも資料 4-5 のとおり、取組の方向性として考えている。ここにはないが、都の計画でも同じように「自殺総合対策大綱」の重点施策を取組の方向性として位置づけている。細かい内容については、これから詰めていくことになる。
- 資料 4-6 では、現行計画が新しい計画ではこのように移行する予定であることを示している。
- 会 長：目標 4 の中に「課題を抱える女性への支援の充実」とあるが、課題を抱える女性のイメージはあるのか。シングルマザーやDVなどを指しているのか。
- 事務局：その他にも、国においては妊産婦の支援や、コロナの影響で職を失った方や経済的に困窮している方への支援などが示されている。
- 会 長：確かに産後うつが増えたというか、産後うつという言葉が定着したように感じる。
- 事務局：町田市では、妊産婦への支援、産後ケア事業など拡充している。今年度から伴走型支援も始まり、妊娠 8 か月の方へのアンケートなども行っていく。国も全体的に子ども家庭庁ができ子ども対策が施策の中心になってきている。母子への支援やそれぞれの支援の取組が自殺対策につながっていく。
- 会 長：確かに結婚、出産で安定する人もいるが、近年はそうでもないことも多い。話は変わるが、計画では食育も一緒となり、それぞれの規模が小さくならないかと懸念している。
- 事務局：それぞれの分野を横断的に整理し、ひとつの計画にしていくことで、包括的なサービスが実現できると考えている。自殺の計画を全体の計画の中にどこまで落とし込めていけるかは検討している最中で、現時点では今日示した取組の方向性までしか定まっていない。今後、委員の皆さんに情報提供したり、意見をいただいたりしながら計画策定を進めていきたい。
- 会 長：生活困窮者を支えていくことが結果的に自殺対策につながっていくのではないと思う。
- 委 員：最近では、民生委員さんになられる方がいらっしゃらないと聞く。高齢者や子どもの支援など幅広く活動されていると思われるが、実際の活動内容について教えてほしい。
- 委 員：妊婦さんから墓場までと言われている。地域の中での関わり方はそれぞれである。通学の見守りや、75 歳以上の方の訪問などを定期的に行

っている。声かけは難しい部分もあるが、関わりを作るようにしている。

会 長：計画では高齢者についてはあまり触れてないように感じる。

事務局：高齢者について、この計画ではあまり直接的には触れていないが、上位計画の町田市地域ホッとプランの方に含まれている。

委 員：ひきこもりのお子さんも増えているが、家庭内や友達関係のことなど、背景がなかなか掴みとれず、対応に悩むことが多い。

会 長：男の子だと父親との関係性が悪いことも多い。複数の大人が声をかけ、相談できる人がいることを示してあげられると良い。

事務局：ひきこもりの支援についてのご相談があれば、保健所の中の保健予防課という部署で、ご家族や本人からの相談に応じて対応している。ただ、保健師が訪問しても会えるまで時間がかかるケースなど、それぞれでだいぶ違うので、保健予防課の精神保健係に一度相談していただいてアドバイスをもらうのがよいかと思われる。

(4) 情報交換

各委員から町田市自殺対策計画関連事業に関する 2022 年度の実施状況及び 2023 年度の実施予定について、【資料 5】のとおり報告があった。

(5) 閉会

会長から、閉会が宣言された。